

第3学年 総合的な学習の時間指導案

1 主題 「インターネットと人権」

2 主題設定の理由

近年、インターネットで行われる「ネットいじめ」が深刻な社会問題になっている。被害にあった子どもは自分に対する誹謗中傷がネット上に記録されてしまうため、長い間、心の傷に苦しむことになる。またネットいじめの恐ろしさは、あらゆる場所で、自分の家にいる時ですら誰かに攻撃され、逃げ場がないように感じることである。

しかしながら加害者である子どもたちは、「ただ書き込むだけ」と加害者意識が少ないことが多い。それだけでなく、ネットいじめは顔が見えずに行われるため、言葉のやり取りの中でどんどんエスカレートしていきやすい。本単元では、インターネットによって誰もが人を傷つけてしまう可能性があることに気づかせたい。そのために、自分の内面を見つめた時、弱さにつながるような次の意識をもっていることを明確にしたい。

- ・周りが差別するから差別してしまうのは仕方がないと考えていた自分。
- ・うわさを信じたり広めたりし、決めつけた見方をしていた自分。
- ・差別を受けている人の心の痛みを考えず、無関心でいた自分。

ネットいじめの問題の解決はネットの向こう側にいる相手の気持ちを考える想像力と自分の心にある弱さと向き合い、「こうした自分をなんとかしたい」という思いを持たせることである。そして、その思いを行動へとつなげていくため、本主題を設定した。

3 単元のねらい

ネットに書き込みをしたり、同調したりしてしまう弱さが自分にもあることに気づき、理由をつけて差別を正当化してしまう生き方をしたくないという思いをもつことができる。

4 単元指導計画

学習の流れ	ねらい	資料
第1時 「インターネットにおける問題の認識」	これまでの体験や実際に起きた事件、社会科での授業で学んだことを通して、インターネット上では重大な人権侵害が多く行われ、深刻な問題になっていることがわかる。 【認識力】	・アンケート ・木村花さん資料
第2時 「インターネットの向こう側」を視聴して	「インターネットの向こう側」の視聴を通して、ネットいじめの深刻さと、常にネットの向こう側にいる相手の気持ちを考え続けることの大切さを実感することができる。 【認識力】	・「インターネットの向こう側」
第3時 本時 自分を見つめる	ネット上に書き込みをしたり、同調したりしてしまう弱さが自分にもあることに気づき、理由をつけて差別を正当化してしまう生き方をしたくないという思いをもつことができる。 【自己啓発力】	・前時の感想 ・アンケート結果 ・NHKfor school ネットいじめ
第4時 自分の生き方	今までの人権学習を振り返り、周りに流されることなく、相手の立場に立って考え、行動できるようになりたいという気持ちをもつことができる。 (次からはじまる同和問題の学習へとつなげる) 【行動力】	・木村花さんの母親の言葉

5 学習指導過程

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	<p>1 前時の感想を交流する。</p> <p>2 NHK FOR SCHOOLを5分視聴する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時の生徒の意識を的確に把握し、指名に生かす。
展開前段	<p>みんなが悪口をネットに書きこんでいたら、自分はどうするだろうか。</p> <p>3 第1時のアンケートを提示する。</p> <p>4 自分自身の問題として考えさせ、自己を見つめさせる。</p> <p>◎自分の立場をはっきりさせて、その自分の思いや意見を学習班の仲間と交流する。</p> <p><ア：悪口をやめるように書き込みをする></p> <ul style="list-style-type: none"> 本当の友達なら自分の考えをしっかりと伝えるべき。 人を傷つけることに同調はしたくない。 嫌な雰囲気にしたくないし、自分の思いは伝えたい。 <p><イ：悪口の書き込みはしない></p> <ul style="list-style-type: none"> その問題に関わりたくない。自分には関係がないから。 悪口の書き込みをすることはよくないことだと思うから。 巻き込まれたくないので、わざと違う話題を書く。 <p><ウ：迷うが、同調する書き込みをしておく></p> <ul style="list-style-type: none"> 書いても本人が見ることはないから、書いてしまうかもしれない。 書かないと今度は自分がいじめにあうかもしれない。本人が見ていないならあたりさわりのないことを書くかもしれない。 ダメなことはわかっているけれど、ばれなければ問題はないようにも思う。 おもしろそうと思ったら乗ってしまいそう。ノリが悪いと思われたくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学びの共同体の理念を取り入れ、自分の考えや相手の考えを知る場面を多くつくる。 周りを気にする自分や他のせいになっている自分に焦点をあてて話し合いができるように補助発問していく。 <p><u>予想される生徒の心の弱さ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 追従 みんながしている。 自己中心 ばれなければ、相手のことはどうでもいい。仲間はずれになりたくない。 傍観 自分には関係ない。 自分自身の心の中の葛藤について語らせる中で、自分の心の弱さを見つめさせたい。
展開後段	<p>5 それぞれの意見についてどのように思うか、全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 書かないほうがいいというのはわかるけれど実際は怖くてできないように思う。 どれも自分の安全を守る意見ばかりで、相手のことは考えていないかもしれない。仲の良い友達なら助けるかもしれないが…。 どの立場の意見であっても、客観的に見ると、すごくわがままで自分のことしか考えていないように思う。 <p>「してはいけないとわかっているのに、ネット上だとエスカレートしていくのはどうしてだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ネット上だと、判断をする時間が短く、深く考えずに行動してしまう。 相手の顔が見えないので、どんどんエスカレートしてしまう。 ネット上だと本来の自分を見失ってしまう。ネットの世界がすべてに感じる。 本人が見ていないというだけで、相手の気持ちを考えることをやめてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が書かれている立場ならどんな気持ちになるだろうか。【補助発問】 嫌いな人や関係のない人なら、何をしてもよいのだからと問い返すことで、自らの弱さを見つめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>人権教育の観点</p> <p><自己啓発力></p> <p>自分の内面的な弱さに気づき、その弱さを乗り越え、常に相手の気持ちを考え続けて行動をしようとする心情を育てる。</p> </div>
終末	<p>6 これからの自分の生き方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットに書きこむときは、相手が見えず、自分のことばかり考えていた。常にネットの向こう側にいる相手の気持ちを考えて行動できるようになりたい。 誰かに流されたりするのではなく、自分の考えをしっかりとって行動し、相手を傷つけないような生き方をしたい。 	